

熊本高等専門学校
数理・データサイエンス・AI教育プログラム
令和3年度 自己点検・評価結果

評価日時： 令和4年3月8日

会議名称： 自己点検評価委員会

開催場所： 熊本高等専門学校

目的： 熊本高等専門学校 数理・データサイエンス・AI教育プログラム（リテラシーレベル）の自己点検評価

評価項目： 文部科学省「数理・データサイエンス・AI教育プログラム（リテラシーレベル）」の審査項目の観点による評価

自己点検・評価の視点	自己評価	評価の理由
学内からの視点：プログラムの学修成果、学生アンケート等を通じた学生の内容の理解度	A	全ての科目において、受講している学生が単位を取得しているため、理解できていると評価する。
学外からの視点：教育プログラム修了者の進路、産業界からの視点を含めた教育プログラム内容・手法等への意見		まだ、本プログラム修了者は卒業していないため、本項目は評価できない。
数理・データサイエンス・AIを「学ぶ楽しさ」「学ぶことの意義」を理解させること	B	本年度は、数理・データサイエンス・AIのプログラムを周知していないものの、各科目で学ぶ楽しさや学ぶことの意義を伝えている。また、学生の学習の支援を実施している。
内容・水準を維持・向上しつつ、より「分かりやすい」授業とすること	A	シラバスの目的・到達目標、教育方法等、授業計画などについて相互点検を実施して、修正が必要な個所の全てにおいて修正を終えている。

評価基準 A：十分満足している。B：満足している。C：改善を要する。